

令和8年度 輪島市立輪島小学校 前期学力向上プラン

研究主題	
自らの目標に向かって学びを進める輪島っ子の育成	
目指す児童生徒の姿	・自分の考えをもつための方法を選び、自己調整している。 ・自分の考えを進んで表現している。

(1) 現状と課題(R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
・自己を高めるような自己決定を行うことが難しい。 ・自分の考えを進んで表現し、伝えることが難しい。	[現状と要因] ○児童は自己決定した内容について意欲的に取り組むことができる。 △課題の解決に向けたよりよい方法を選び、自分を高めることが難しい。安易な自己決定を行っている。 →自己の学び方を振り返る場面を設けたり、価値づけたりすることが不十分。 △自分の考えを書いたり、話したりするなどして伝える力が弱い。 →児童にとってインプット場面が多く、自分の考えを伝えさせる工夫や支援が不足している。 [根拠となるデータ] ・12月 県評価問題 算3(1) 正答率 64.9% 誤答率 26.3% 無回答率 8.8% ・12月 県評価問題 算5(2) 正答率 15.8% 誤答率 71.9% 無回答率 12.3% ・前年度後期プラン 診断テスト「単元末テスト」期待平均値以上を超えた割合 74.7%

(2) 計画と実行(P・D)

具体的取組	検証項目(検証方法)	検証結果
・自己の学び方について、価値づけた り、振り返りの場面を設けたりする。 ・自分の考えをもち、表現することが できるような手立てと場面を準備して授業 を行う。	実施検証①「学び方について振り返りや価値づけを行ったか」(教師アンケート) 90% 実施検証②「児童が自分の考えをもち、表現することができるような手立てと場面を準備して授業に臨んだか」(教師アンケート) 90% 成果検証③「課題の解決に向けて、自分で考えたり、方法を選んだりして自分から取り組みましたか。」(全校児童アンケート) 80% 成果検証④ 期待平均値以上を超えた割合(単元末テストにおいて) 75% 成果検証⑤「児童は自分の考えを表現していたか(書くor話す)」(授業検証) 95% 成果検証⑥「ねらいを達成している」(授業検証) 80%	% % % % % %

月	検証計画(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題△
4	□①教師アンケート(学担・級外 月末) □②教師アンケート(学担・級外 月末) □③児童アンケート(学担・4週目)	70% 65% 83.1%	○今年度の研究の方向性を確認するとともに、研究主題の「自らの目標に向かって学びを進める」姿についてミニ研修を実施し、全ての先生方で共通理解をすることができた。 ○「輪島っ子スタンダード授業スタイル」を意識した授業づくりがされるようになった。 △学習課題に対して、児童に考えを持たせるための手立てが曖昧なまま授業をしている先生方が多い傾向がある。また、学び方の価値付けについても十分に行われているとは言えない。
5	□①教師アンケート(学担・級外 月末) □②教師アンケート(学担・級外 月末) □③児童アンケート(学担・4週目) □④客観的評価テスト(授業担当者・月末) □⑤授業検証(授業担当者、左古教諭研究授業を含む 月末) □⑥ねらい達成(授業担当者、左古教諭研究授業を含む 月末)	77.8% 97% 89.4% 67.6% 78% 75.6%	○授業検証シートを使って、重点に沿った授業構想を実践したところ、児童が考えを表現する(書くor話す)ための手立てを準備して授業に臨むことができるようになってきた。 ○研究授業では、児童に考えをもたせる前に、見通しをもつための手立てを取り入れることで、何をどのように考えたらいのかが明確になり、児童が考えを表現しやすくなることを確認できた。 △どんな姿をよりよい学び方の姿として見取り、価値付けしたらよいかイメージできておらず、授業の中でも十分行われていない。
6		% % % %	
7		% % % % %	

(3) 検証と改善(C・A)

取組の成果○・課題△		目指す児童生徒の姿の達成状況
○ △		%